

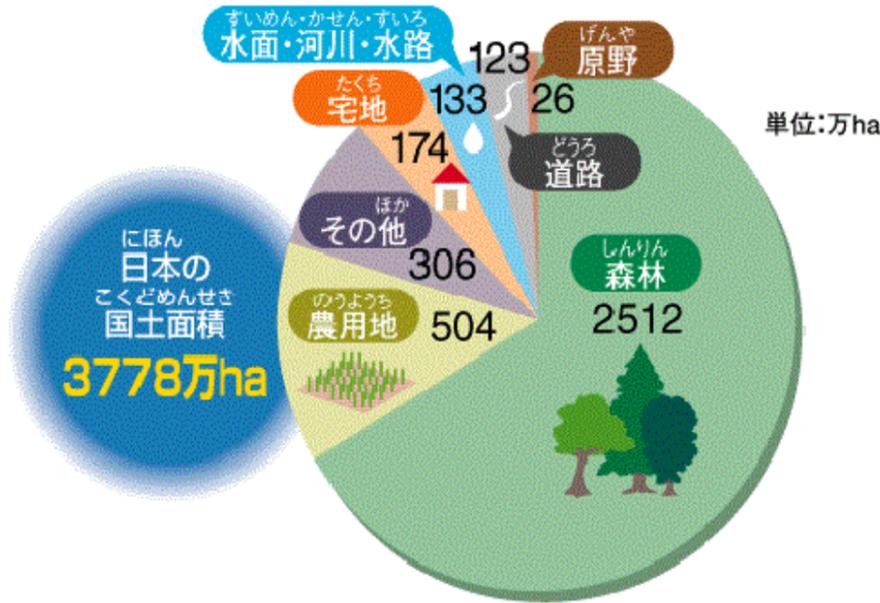
## ～今月の花木～



ロウバイ 蠟梅

ロウバイ科・落葉低木・中国原産

冬枯れする時期にいち早く咲き、香りもあり、この時期に存在感のある花である。名の由来は、ロウ細工で作ったウメの花のようだからとか…



日本の国土面積に占める各用地の割合。森林が跳びぬけて多い

# 森の国日本〜森林の話〜

新年あけましておめでとうございます。本年も当社社員一丸となって業務に当たりたいと思っております。引き続きのご愛顧どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、新年第一弾の野崎造園新聞はいつもの造園の話から少し離れた森林についての話をさせていただきます。日本は国土の全面積の約67%が森林におおわれており、その姿、働きも非常に多岐にわたりますが、今回はそのような森林の姿や働きの一面をご紹介します。

森林とは「広範囲にわたって樹木が密集している場所」と辞書には書かれています。が、様々な要因が影響し、その姿は地域によって大きく異なります。

**自然的要因**…日本は南北に長いことに加えて地形も複雑なため気候・地形・標高などによって常緑広葉樹・落葉広葉樹・常緑針葉樹・落葉針葉樹等に優占する樹種が変わり、さらにその下層には多くの野生動物や菌類が生活・繁殖することによって、その姿を形作っています。

**人的要因**…日本は第二次大戦後多くの地域で木材資源確保を目的とした植栽が行われ、現在の森林の姿の一端を作っています。これら人の手によって植えて育てられてきた森林の事を人工林といい、日本の森林の約4割がそうした人工林の森林です。それに対して人の手が殆ど入っていない原生林、あるいは里山などに代表される人の手が入った個所でも、主として自然の力によってその成立がなされた森林の事を総じて天然林とい、日本の森林の約6割を占めています。

## 自然的要因による森林の変化

**低木林・ツンドラ**: 日本では主に北海道や東北の山の一部、日本アルプスや富士山の標高 2,500m 以上の箇所で見られます。ハイマツ等の低木が多く生育しています。

**常緑針葉樹林**: エゾマツ・トドマツ・ツガ等が優先して生育する森林で、主に北海道と本州の山間部にみられます。

**落葉広葉樹**: ブナ・ミズナラ・カエデ等が優先して生育する森林で、主に北海道南部～東北地方に多く西日本でも山間部で見られる森林です。

**照葉樹林**: 東北地方海岸部～九州地方まで広く分布している森林です。主にカシ類・タブノキ・ツバキ等が優先して生育する森林で、関東平野部は照葉樹林帯に属しているため目にすることが最も多い森林ではないでしょうか。

**多雨林**: 鹿児島県の奄美群島～沖縄県に見られる森林で、アコウ・ガジュマル等本州ではなかなか見ることのできない樹木が生育しています。



出典) 独立行政法人情報処理推進機構「教育用画像素材集」より引用し加工したもの

## 人的要因による森林の変化

人的要因も様々ですが、こうして写真を並べてみると人の手が入ることで、森林の姿が大きく変わることがわかります。



屋久島原生林

人の手が殆ど入っていない、あるいはまったく入っていない森林で、その地域に本来存在する森林の姿がそのまま残っています。鹿児島県の屋久島や秋田県の白神山地、北海道の知床地方などが有名です。



横浜市緑区の里山風景

集落に隣接した古くから薪や山菜を取るためにその地域の住人が出入りしている森林で、人的影響は受けているもののあくまで森林の再生・成長は自然の力で行われており、自然と人間の生活が交わることで生み出される森林の姿です。



宮崎県のスギ人工林

主として材木を得るために人の手によって苗木が植えられ計画的に管理されている森林で、その地域の林産業を支えています。宮崎県の飫肥地方、愛媛県の久万地方、奈良県の吉野地方、長野県の木曾地方などが木材生産で有名です。

# 森林が誇る多面的な機能

森林の機能はとても多様で、私たちは普段の何気ない生活を送る中でも常に森林の恩恵を受けていることがわかります。

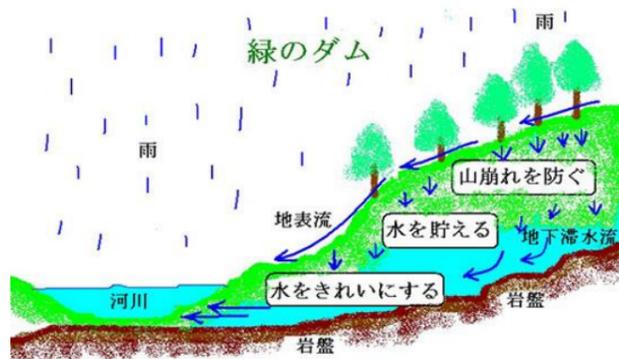


## 森林にはいろいろな働きがあった！

### 災害の防止・軽減、水質の改善

森林は土壌にスポンジのように雨水をしみこませ一時的に蓄えることで、川に雨水が一気に流れ出ることを抑制し河川の流量を調節する機能や、樹木の根が張ることで土砂や岩石が固定され土砂災害を抑制する機能があり、一般的には「緑のダム」と呼ばれている森林の機能です。ただしこの機能も万能ではなく、あまりに多くの雨が短時間に降った場合は、しみこませる能力の限界を超えてしまいます。

また土壌中にしみこんだ雨水は、川に流れ出るまでに水質が浄化されるだけでなく、土壌や岩のミネラル分が溶け出すことによっておいしい水が生み出されていると考えられています。これらの機能は人工林であっても適切に管理されていれば、その効果は発揮されています。



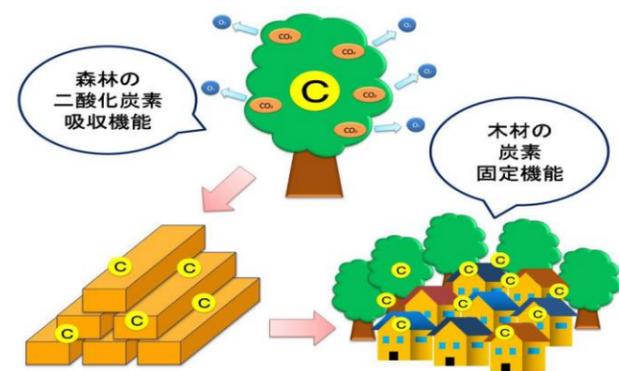
『緑のダムの概略図』  
日本のように傾斜のある地形では森林の存在は災害の抑制に大きな貢献をしています。

### 二酸化炭素の吸収・酸素の放出

植物は大気中の二酸化炭素を吸収し酸素を放出する「光合成」を行うことによって成長し、その働きが地球温暖化の抑制につながっていることは今や周知の事実と言えるでしょう。ちなみに成長の旺盛な若い樹木は二酸化炭素の吸収量が多く、老齢になるにつれ吸収量は減っていきます。人間も若い時の方がたくさんご飯を食べることが出来るのと同じようなイメージでしょうか。

また樹木は伐採され木材となっても二酸化炭素をその中にため込んだ状態にあり、役目を終えて燃やされるまで大気中に二酸化炭素が戻ることはありません。

計画的な森林の管理と木材の使用が地球温暖化抑制に貢献しています。



『二酸化炭素の吸収・固定機能』  
木材となっても二酸化炭素は大気中に放出されません。

### レクリエーション・憩いの場

新緑や紅葉などを楽しむために森林にハイキングに向かう方も多いと思いますが、森林にはそうした憩いの場を提供し訪れる人を楽しませる視覚的な楽しみの他、森林浴の効能で有名なフィトンチッドと呼ばれる物質によって化学的にもリラックス効果をもたらす機能があります。またその地域の文化や作業と森林が密接に関係していることも多く、時には学習の場として森林を使うこともあるのではないのでしょうか。

### 生物の生育・生息の場

イノシシやシカなどの大型生物から昆虫などの小型生物、果ては微生物のような目に見えない生物まで森林は多くの動植物が生息する生き物の宝庫で、日本の森林でも新種の動植物が現在でも発見されることがあります。右に紹介している高尾山も 65 種類の野草類が新種として発見されるなど、動植物の貴重な生息地でもあります。



『八王子市の高尾山』  
修験者の集う歴史的背景、都内から近い森林・登山スポット、動植物の貴重な生息地と様々な側面を持っています。

### 木材の生産

住宅の建材を始めとして桶・家具などの日用品から造園で使う支柱まで、木材のできた製品は私たちの生活になくてはならない物です。その木材を生産しているのが林業の現場すなわち森林です。木材は伐採したのちに苗木を植え適切に管理することで再び同じ場所で木材を生産することのできる再生可能な資材です。ちなみに北海道を除く日本の人工林のほとんどはスギもしくはヒノキが植えられており、北海道ではトマツやカラマツが植えられています。

### 林産物の採取

タラの芽・自然薯・イタドリなどの山菜類、シイタケ・マツタケ・ヒラタケなどのキノコ類等古来より森林は私たちに多くの食料を提供してくれる場としての機能を持っています。今でも山菜取りやキノコ狩りは多くの地域で行われており、スーパーなどには並ばない山菜やキノコ類を採ることが出来るのも醍醐味ではありますが、食用とそっくりな有毒種も大変多く、採取の際は注意が必要です。



『上部・原木市場のスギ』  
下部右側・イタドリ 左側・クリタケ  
山の恵みは今も昔も変わることなく私たちに支えています。

### ～あとがき～

あけましておめでとうございます。今回造園新聞を初めて担当させていただきましたOです。いつも造園新聞を製作しているMさんより「O君書いてみないか」とお話を頂いて書かせていただきましたが、Mさんとは違うタッチが出せればと少し造園から離れた内容で作ってみました。いざ作るとなるとなかなか難しいものですが、少しでも皆様に森林の事を知っていただき、興味を持っていただければ幸いです。

～当社では障害者、親と暮らすことが出来ない子供たちの施設(社会福祉法人)に皆様から頂いた書類の使用済み切手等を使い、支援活動をしています。～